

指定管理施設（ かさはら福祉センター ）事業評価表

項目	区分	具体的内容	目標・ねらい			年度評価		令和３年度の実施状況		令和４年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
						R3 年度	R4 年度					
に 福 高 関 祉 齢 す 相 者 こ 談 及 と び 障 が い 健 者 康 等 相 談 の	1	生活・健康相談の実施	回数	実施日	ねらい			実施回数 (回)	参加延べ人 数(人)	実施回数 (回)	参加延べ人 数(人)	・ 来所や電話により相談を受け、適切なサービスにつなぐ事及び適切なアドバイスを実施した。また、必要に応じて、関係機関（民生児童委員等）との調整を行った。 ・ 受付において気軽に声をけるほか、掲示物を見ている方に声をかけて、日頃から相談しやすい雰囲気づくりに努め、来館者からの話も積極的に伺った。 ※コロナ禍のため、安全が確保できる期間に相談を実施した。
		地域包括支援センター職員の協力のもと、介護や生活に関する相談に応じる。	-	随時	高齢者及び障がい者等からの健康相談や福祉相談を受け、必要に応じて自宅訪問を行う 身体状況の把握と管理			—	—	—	—	
		健康相談	12	原則、月１回				1	18	3	48	
		小計	0	—	—	—	—	1	18	3	48	
		計	0	—	—	13	13	1	18	3	48	
高 齢 者 の 教 養 講 座 等 の 実 施 に 関 す る こ と	1	高齢者等の生活、健康に関する講座の実施	回数	実施日	ねらい			実施回数 (回)	参加延べ人 数(人)	実施回数 (回)	参加延べ人 数(人)	・ 笠原地域福祉協議会、地域包括支援センターおよび保健センター等との共催事業として実施し、一般来館利用者等に、窓口で参加等の働きかけをした。 ・ ロコミでの周知が多く、体操等の体を動かす講座が特に人気があり、継続して実施した。 ・ 窓口にいらした方々に各教室の紹介を積極的に行った。
		健康づくり 「貯筋体操」	12	月１回	・ 高齢者の心身機能の維持・向上を図るとともに、仲間づくり、生きがいづくりを助長する。			12	132	22	262	
		健康づくり 「バランスボールを使った体	3	年３講座 (１講座： 10				26	353	29	449	
		健康づくり 「リンパ・ドレナージュ」	24	月２回				22	246	24	298	
		健康づくり 「３Ｂ体操」	24	月２回				18	184	23	269	
		健康づくり 健康麻雀	4	年４回				0	0	0	0	
		健康づくり 詩吟教室	24	月２回				0	0	0	0	
		教養知識 折り紙教室	12	月１回				13	184	12	134	
		教養知識 パッチワーク教室	24	月２回				22	93	24	93	
		教養知識 絵手紙教室	12	月１回				0	0	0	0	
		教養知識 シルバークッキング	1	年１回				0	0	1	30	
		教養知識 麻雀教室	48	月４日				47	1,110	50	1,177	
		教養知識 朴葉寿司づくり	1	年１回				0	0	1	13	
		教養知識 料理教室	2	年２回				0	0	0	0	
		教養知識 スマートフォン教室	2	年２回				2	28	1	21	
		介護予防 家族介護教室	2	年１回以上				1	13	2	42	
		介護予防 認知症サポーター養成講座	1	年１回以上				2	25	1	18	
		介護予防 認知症予防講座	3	年３回				4	71	2	31	
		介護予防 介護予防教室	4	年４回				2	29	2	22	
		小計	203	—	—	—	—	171	2,468	194	2,859	

項目	区分	具体的内容	目標・ねらい			年度評価		令和３年度の実施状況		令和４年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
						R3 年度	R4 年度					
		医療講座	回数	実施日	ねらい			実施回数 (回)	参加延べ人 数(人)	実施回数 (回)	参加延べ人 数(人)	・例年、テーマを決め、各専門の医師、看護師、薬剤師を講師にまねき講座を開催している。 ※コロナ禍のため、提携している医療機関がひっ迫していて、講師の調整がつかず公開講座は開催できなかった。
		公開医療講座	12	月１回	医師、薬剤師、理学療法士等から、生活習慣病等の予防法やフレイル予防を習得する。			1	18	0	0	
		小計	12	—	—			1	18	0	0	
		計	215	—	—	13	9	172	2,486	194	2,859	・
地域福祉増進のための講座等に関すること	1	生きがい健康塾	11	月１回	同世代の利用者相互が、身近な地域を散策や健康に関する講話を聴く事により、引きこもり防止を図る。			23	469	35	666	・地域福祉協議会および地域包括支援センターが主催する講座に協力して実施した。 ・高齢者の閉じこもり予防策として実施し、季節に合わせた内容やフレイル予防に配慮したメニューを実施した。 ・講師を招きガーデニングを通じて仲間づくりをすると共に生きがいづくりを行った。 ※コロナ禍であったが、安全面に配慮して実施した。
		教養知識 ガーデニング講座	4	年４回 (四半期ごと)	利用者相互がガーデニング知識を習得することにより、生きがいづくりの場とする。			4	77	4	68	
		小計	15	—	—			27	546	39	734	
		計	15	—	—	13	13	27	546	39	734	
地域福祉センターの連携、周知、協力に 関係する こと	1		回数	実施日	ねらい			実施回数 (回)	参加延べ人 数(人)	実施回数 (回)	参加延べ人 数(人)	・例年、障害者福祉センターおよび笠原地域にある障がい者・児施設の事業を紹介した。 ・コロナ禍においてもできる事として、障がい者福祉センター機関紙を設置し、障がい者福祉の最新情報を提供すると共に地域住民の理解の促進を図った。 ※コロナ禍であり、かさはら福祉まつりは、中止となった。 また、笠原地区の障がい者施設との交流は自粛をした。
		かさはら福祉まつり (地域社協主催)	1		校区内の福祉関係団体の交流・連携と福祉センターのPR			0	0	0	0	
		障がい者施設との連携		随時	笠原地域の障がい者施設を紹介し、住民への周知と理解を促す。			—	—	—	—	
		小計	1	—	—			0	0	0	0	
		計	1	—	—	—	—	0	0	0	0	—
福祉関係団体との連携、支援に関する こと	1		回数	実施日	ねらい			実施回数 (回)	参加延べ人 数(人)	実施回数 (回)	参加延べ人 数(人)	・作業室を利用希望団体に開放し、印刷・製本作業が自由に行える環境とし、地域住民の自主的な活動やボランティア活動の促進を図った。 ・印刷機等の使用方法の説明及び消耗品の補充、機械の点検を行った。 ・イベント事業に伴うポスターの掲示に協力した。 ・笠原地域民生児童委員協議会4/13、多悠連笠原校区連合会4/4に出席し、情報交換等を積極的に行った。 ・各団体の現状を把握するとともに、課題を共有することで地域との信頼関係を築いた。 ※かさはら福祉センター内の事業所で利用者及び職員がコロナの感染者や濃厚接触者等になり、安全を期すため、関係会議へ出席を控えた。 (感染拡大の抑制のため)
		各種福祉団体の活動支援のため、作業室を利用してもらい、資料作成等を支援する。	—	随時	各種団体が、利用しやすいように機械の整備及び作業室の整理整頓を行う。また印刷機の使用方法的説明を行う。			—	—	—	—	
		多治見市悠光クラブ連合会との連携	2		情報交換、協力、支援			2	71	1	35	
		民生児童委員協議会との連携	11	月１回				1	20	1	20	
		小計	13	—	—			3	91	2	55	
		計	13	—	—	12	9	3	91	2	55	—

項目	区分	具体的内容	目標・ねらい			年度評価		令和３年度の実施状況		令和４年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
						R3 年度	R4 年度					
ボランティアの養成に関する事	1		回数	実施日	ねらい			実施回数 (回)	参加延べ人 数(人)	実施回数 (回)	参加延べ人 数(人)	・共有スペースに活動紹介、イベントの案内のためのチラシの設置スペースを開設し、各団体の広報活動を促進した。 ・最新の情報を掲示し、参加が少ない事業は目立つスペースに掲示するよう心掛けるとともに、参加を呼び掛けた。 ・健康についての問い合わせが多く聞かれており、健康に関する情報を積極的に掲示した。 ・福祉協力校として、地元の小中学校の取り組みを紹介した。 ※本来なら来館して福祉体験等を行うことが大切であるが児童や生徒の安全第一を考えて、コロナ禍でできる事を実施した。
		福祉センター正面玄関に掲示板を設置し、各種講座、ボランティア団体の活動紹介を実施する。	-	随時	募集チラシなどの掲示希望団体から出されたものを掲示し、各団体の活動を支援する。			—	—	—	—	
		ボランティア情報コーナーの設置	-	随時	ボランティアの募集や養成講座の開催等に関する情報を掲示する。			—	—	—	—	
		ベルマーク及び古切手募集コーナーの設置	-	随時	身近なボランティア参加として協力を呼び掛ける。			—	—	—	—	
		福祉教育	-	随時	かさはら福祉センターを拠点に福祉活動を啓発する。			—	—	—	—	
		小計	0	—	—	-	-	0	0	0	0	
		計	0	—	—	-	-	0	0	0	0	—
その他のため高齢者及び障害者の福祉増進	1		回数	実施日	ねらい			実施回数 (回)	参加延べ人 数(人)	実施回数 (回)	参加延べ人 数(人)	・高齢者が気軽に利用できるように開放し、集いの場となりうるようにした。職員からも積極的にあいさつ、声掛けをした。 ・常設のコグニサイズレーンを設置し、手と足を同時に動かすことで脳と体のバランスを保てるよう、自主的に取り組むよう来館者に声をかけた。 ・コロナ禍なので、フレイル予防に留意して、健康情報誌を毎月1回、掲示及び配布した。
		コグニサイズ		随時	転倒予防等、軽運動の実施			—	—	—		
		健康情報紙の発行	12		フレイル予防及び健康増進			12	—	12	—	
		浴場、ヘルストロン、健康器具、囲碁、将棋、ビリヤード、カラオケ等の施設の開放及び管理を実施する。	-	開館日	個人でも気軽に安心して利用できるような仲間づくりの場を提供する。			—	—	—	—	
		小計	0	—	—	-	-	12	-	12	-	
		計	0	—	—	13	13	12	-	12	-	

（留意事項） ※「区分欄」は、指定管理者の協定書・仕様書で定められた事業は「１」、協定書等がない自主事業は「２」を記入。
「年度評価欄」は、次の内容で記入。